



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

東

上場会社名 株式会社カワタ  
コード番号 6292  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 亘  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 原田 恒子 (TEL) 06-6531-8211  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2025年3月期第3四半期	13,937	△6.0	570	△8.3	664	△0.5	151	△61.8	
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		14,825	△18.5	622	△23.4	667	△23.1	397	△30.1
		22百万円 (△96.2%)		2025年3月期第3四半期		586百万円 (△40.2%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 錢	円 錢
2025年3月期第3四半期	21.71	—
2025年3月期第3四半期	56.91	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	24,160	13,226	53.6
2025年3月期	25,304	13,480	52.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 12,962百万円 2025年3月期 13,216百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
2026年3月期	—	20.50	—	20.50	41.00
2026年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	19,200	△7.5	540	△45.1	600	△42.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期 3Q	7,210,000株	2025年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	224,366株	2025年3月期	228,967株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期 3Q	6,983,926株	2025年3月期 3Q	6,981,033株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. その他	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の関税政策の不確実性や中国経済の減速等により不安定な状況が続きました。

わが国経済も、日本に対する相互関税は一段落したもの、鉄鋼・アルミニウム関税の引き上げやエネルギー、原材料価格の高止まり等により、市場環境は先行きを見通せない状況となっております。設備投資の動向を知るうえでの先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、2025年1月～3月は12,977億円（前年同期比5.6%増）、2025年4月～6月は13,174億円（同4.1%増）、7月～9月は13,616億円（同14.0%増）、10月は4,464億円、11月は3,981億円と年初から10月までは、横ばいから微増傾向で推移していたものの、11月で再び減少に転じており、米国の関税政策等による景気下振れ懸念を背景に、設備投資についても慎重さが見られます。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確保、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品、化学等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期における受注高は、前年同期比6億6千9百万円増（同5.0%増）の141億4千1百万円となりました。一方、受注残高については、直前四半期末とほぼ横ばいで推移し、前年同期比では1億1千万円減（同1.3%減）の81億9千4百万円となりました。また、売上高につきましても、前年同期比8億8千8百万円減（同6.0%減）の139億3千7百万円となりました。

損益面では、生産効率の向上による原価低減や諸経費の削減等により売上総利益率が改善（29.9%→30.8%）したもの、売上高の減少に伴い売上総利益が減少したことにより営業利益は前年同期比5千1百万円減（同8.3%減）の5億7千万円となりました。また、経常利益についても、前年同期比3百万円減（同0.5%減）の6億6千4百万円となりました。

特別損益では、固定資産売却益3百万円を特別利益に計上するとともに、固定資産除売却損1千万円、中国子会社の事業体制再構築に伴う構造改革費用1億4千1百万円を特別損失に計上し、法人税、住民税及び事業税2億7千1百万円、法人税等調整額9千万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2億4千5百万円減（同61.8%減）の1億5千1百万円となりました。

日本におきましては、フィルム・シート関連、医療向け等の非プラスチック関連の売上は増加したものの、電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連の売上や射出成形関連の売上が低調に推移したことから、売上高は前年同期比6億7千8百万円減（同6.7%減）の94億円となりました。一方、損益面では、生産効率の向上による原価低減や諸経費の削減等により売上総利益率が改善（26.6%→29.6%）したこと及び販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は前年同期比1億3千3百万円増（同18.9%増）の8億3千7百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は前年同期比4千万円増（同4.5%増）の9億3千8百万円となりました。

東アジアにおきましては、中国におけるEV向けのリチウムイオン電池関連の売上低迷に加え、スマホ・VR用レンズ関連の売上も低調であったことから、売上高は前年同期比2億7千2百万円減（同7.1%減）の35億6千2百万円となりました。損益面においても、高利益率の売上が減少したことに伴い売上総利益率が悪化（29.2%→22.6%）し、諸経費の削減により販売費及び一般管理費は減少したものの、営業損失が2億9千2百万円（前年同期は9千4百万円の営業損失）となり、セグメント損失（経常損失）が2億6千3百万円（前年同期は7千6百万円の経常損失）となりました。

東南アジアにおきましては、OA機器関連等の売上が比較的堅調に推移したものの、自動車関連の売上は引き続き低調であったことから、売上高は前年同期比7千3百万円減（同4.6%減）の15億3千3百万円となりました。損益面では、売上総利益率が改善（34.5%→35.2%）したものの、販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、営業利益は前年同期比3千3百万円減（同94.2%減）の2百万円となり、セグメント利益（経常利益）は前年同期比4千3百万円減（同99.8%減）の0百万円となりました。

北中米におきましては、前年度の受注増により、売上高は前年同期比1億4千7百万円増（同56.5%増）の4億9百万円となりました。一方、損益面では、売上総利益率の悪化（36.5%→35.9%）と販売費及び一般管理費の増加により、営業損失が1千1百万円（前年同期は4千4百万円の営業損失）となり、セグメント損失（経常損失）が1千7百万円（前年同期は1億4百万円の経常損失）となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、受取手形、売掛金及び契約資産、商品及び製品が減少したこと等により10億8千3百万円減少し、174億4千1百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物が減少したこと等により6千万円減少し、67億1千8百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11億4千3百万円減少し、241億6千万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したこと等により8億1千2百万円減少し、66億7千万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、長期借入金が減少したこと等により7千7百万円減少し、42億6千3百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8億9千万円減少し、109億3千4百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、為替換算調整勘定が減少したこと等により2億5千3百万円減少し、132億2千6百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国の関税政策による景気の下振れが懸念されるなか、先行きを見通せない状況が続くものと予想されます。わが国経済も、米国の関税政策による影響や中国の景気後退等により、市場環境については、当面は不安定な状態で推移するものと予想されます。

このような情勢下ではありますが、当第3四半期におきましては、限定的ではあるものの、受注の増加が見られ、売上高は想定を上回って推移し、損益面においても、原価上昇の抑制に加え、案件構成の影響で利益率が計画比で良化したことから、2026年1月30日に2026年3月期の連結業績予想の修正を行っております。（詳細は2026年1月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。）

かかる環境下、当社グループは、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化、一体成形化(ギガキャスト)等の動きや、社会の変化に伴うタブレット、P C、スマホ、V R等の通信機器拡大、A I、I o T、5 G等のデジタル化推進の動きへの確に対応していくとともに、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上等を中期的に取り組んでまいります。また、非プラスチック関連や次世代電池関連等の新規事業分野の開拓・拡大にも注力してまいります。

地球レベルでの環境問題（脱炭素、使い捨てプラスチックの削減）に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治（コーポレートガバナンス）等を実現していくことで経営基盤の強化とE S G経営を推進いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	6,866,390	6,898,778
受取手形、売掛金及び契約資産	7,665,787	6,571,861
商品及び製品	763,244	649,024
仕掛品	867,461	999,461
原材料及び貯蔵品	1,975,576	1,920,838
その他	438,376	449,085
貸倒引当金	△51,920	△47,199
流动資産合計	18,524,916	17,441,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,110,985	2,948,342
土地	1,658,801	1,649,638
その他（純額）	573,570	493,277
有形固定資産合計	5,343,357	5,091,257
無形固定資産		
その他	649,732	742,916
無形固定資産合計	649,732	742,916
投資その他の資産		
その他	787,555	886,314
貸倒引当金	△1,194	△1,676
投資その他の資産合計	786,361	884,638
固定資産合計	6,779,450	6,718,812
資産合計	25,304,366	24,160,663
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	2,114,691	1,590,600
短期借入金	3,004,056	3,078,256
未払法人税等	242,569	67,550
製品保証引当金	97,971	71,425
役員賞与引当金	44,956	-
その他	1,978,546	1,862,503
流动負債合計	7,482,790	6,670,336
固定負債		
長期借入金	3,006,240	2,834,248
役員株式給付引当金	39,840	35,890
退職給付に係る負債	1,126,877	1,123,207
その他	168,502	270,546
固定負債合計	4,341,460	4,263,892
負債合計	11,824,251	10,934,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
<b>資本金</b>	<b>977,142</b>	<b>977,142</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,069,391</b>	<b>1,069,391</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>9,737,454</b>	<b>9,609,347</b>
<b>自己株式</b>	<b>△129,500</b>	<b>△125,580</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>11,654,488</b>	<b>11,530,300</b>
その他他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,433	341,159
為替換算調整勘定	1,329,652	1,090,712
その他他の包括利益累計額合計	1,562,086	1,431,872
非支配株主持分	263,541	264,261
<b>純資産合計</b>	<b>13,480,115</b>	<b>13,226,434</b>
負債純資産合計	25,304,366	24,160,663

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	14,825,878	13,937,027
売上原価	10,389,827	9,643,734
売上総利益	4,436,051	4,293,293
販売費及び一般管理費	3,813,629	3,722,596
営業利益	622,422	570,696
営業外収益		
受取利息	15,416	17,688
受取配当金	16,856	20,895
為替差益	16,693	64,521
增值税還付金	31,066	11,042
その他	21,502	55,735
営業外収益合計	101,536	169,883
営業外費用		
支払利息	41,048	48,599
その他	15,296	27,800
営業外費用合計	56,344	76,400
経常利益	667,613	664,179
特別利益		
固定資産売却益	22,026	3,687
特別利益合計	22,026	3,687
特別損失		
固定資産除売却損	6,910	10,013
会員権評価損	1,032	460
構造改革費用	-	141,077
特別損失合計	7,943	151,550
税金等調整前四半期純利益	681,696	516,316
法人税、住民税及び事業税	228,107	271,508
法人税等調整額	49,538	90,825
法人税等合計	277,645	362,334
四半期純利益	404,050	153,982
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	397,304	151,620
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,746	2,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,102	108,725
為替換算調整勘定	151,188	△240,581
その他の包括利益合計	182,290	△131,855
四半期包括利益	586,341	22,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	564,476	21,405
非支配株主に係る四半期包括利益	21,864	720

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	9,595,308	3,378,215	1,600,223	252,132	14,825,878	—	14,825,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	483,416	456,057	7,112	9,473	956,061	△956,061	—
計	10,078,725	3,834,272	1,607,336	261,606	15,781,940	△956,061	14,825,878
セグメント利益又は 損失(△)	898,397	△76,506	43,924	△104,251	761,564	△93,950	667,613

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	761,564
セグメント間取引消去	△93,950
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	667,613

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	8,938,435	3,073,050	1,523,277	402,264	13,937,027	—	13,937,027
セグメント間の内部 売上高又は振替高	461,586	489,212	10,442	7,272	968,513	△968,513	—
計	9,400,021	3,562,262	1,533,720	409,536	14,905,540	△968,513	13,937,027
セグメント利益又は 損失(△)	938,527	△263,013	105	△17,070	658,548	5,630	664,179

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	658,548
セグメント間取引消去	5,630
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	664,179

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	347,402 千円	353,913 千円

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	8,364,346	△6.3
東アジア	3,168,403	4.2
東南アジア	257,687	△20.1
合計	11,790,438	△4.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	8,856,775	0.2	5,504,990	△11.2
東アジア	3,145,317	15.9	1,575,097	12.8
東南アジア	1,757,116	16.9	868,613	87.1
北中米	382,614	△7.2	245,416	△0.6
合計	14,141,824	5.0	8,194,118	△1.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	8,938,435	△6.8
東アジア	3,073,050	△9.0
東南アジア	1,523,277	△4.8
北中米	402,264	59.5
合計	13,937,027	△6.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。